

第六回主要国首脳会議におけるコッシーガ議長の弔意表明

(昭和五十五年六月二十二日　ベネチア)

討議の前に故大平総理のご逝去につき弔意を表したい。故総理は、日本と欧米との間の友好関係の促進に貢献されたが、これに対し深い尊敬の念を表明いたしたい。この点については、先般のＥＣ首脳会議でも各国首脳より述べられたところである。故総理は、前回のサミットをアレンジし、今回のベネチア・サミットにも参加の強い熱意を有しておられたが、心臓病のため逝去された。故大平総理の高潔な人格、識見、高い知性を想起しつつ、われわれは、討議、意見交換を行いたい。われわれは、天皇陛下、日本政府、日本国民に対し、深い弔意を表する。

(なお、弔意表明のため、一分間の黙とうが行われた)